

南紀州ほんまもん体験

海輝き 山響く 清流の里



手引き

(国内の学校様用)



一般社団法人南紀州交流公社

◇ほんまもん体験 実施までの流れ

日程	項目	内容	学校	旅行会社	交流公社	南紀州交流公社の動き		
1～2年前	実施日の決定・予約	日程、人数、民泊・体験の有無等		○	→	○		
～6カ月前	全行程表（仮）の共有	入村・離村・体験時刻等の確認		○	→	○		
	体験メニューの選定（晴天時用）	体験種目を確定	○	→	○	→	○	各体験施設を手配
	クラス別男女比の連絡	民泊家庭数の確認	○	→	○	→	○	民泊家庭の確保
～3カ月前	下見	入村式・離村式の場所、体験場所、民泊家庭を2、3軒を巡回します	○		○		○	
	班分け表に情報入力	名前、持病、アレルギー情報等	○	→	○	→	○	
～2カ月前	民泊家庭決定		○	←	○	←	○	マッチング
	体験人数決定		○	→	○	→	○	各体験施設に報告
	雨天時の体験について	晴天時の体験人数に応じて体験種目を選定いたします	○	←	○	←	○	
～1カ月前	自己紹介シート・手紙の作成	（作成される場合）	○	→			○	
	各民泊先へ班割表の配布					○	民泊家庭へ配布	
	体験別の調査書報告	シュノーケル体験など、サイズや持病を確認	○	→	○	→	○	体験施設に報告
	全行程表（しおり等）の共有	最終行程表の確認	○	→	○	→	○	
～当日	欠席者の確認・共有		○	→	○	→	○	随時民泊家庭、体験施設へ報告
	天候による変更事項報告	入村式、体験場所などの連絡	○	←	○	←	○	



◇民泊受入についてのお願い

- ・交流を目的としていますので、お客様ではなく、わが子わが孫のように家族の一員としてお迎え致します。
- ・生活体験でもあるので、お風呂は決められた時間を守り、布団の上げ下げもお願いしております。
- ・受入家庭の家族や親戚あるいは地域内での病気や不幸事が起こると、急な受入家庭の変更が生じます。
- ・民泊滞在中の食事は、共同調理を基本としています。盛り付けや配膳、後片付けも一緒にさせていただきます。
- ・家業体験については、各家庭で独自の体験をすることになっており、各家庭で異なります。またお土産は生徒さんが体験で作った作品以外は原則お渡ししておりません。
- ・民泊家庭との交流を深める為、他の民泊家庭へは行かないようお願いしております。
- ・安全確保の為、家人が同行しない生徒さんだけの外出は禁止させていただいております。
- ・お互いの信頼関係構築の為にも、最初に自己紹介をし、最後に感想を話させていただきます。
- ・一軒当たりの受入人数は4名を基本としております。寝室は原則として和室1室を用意しております。
- ・携帯電話、スマートフォンの使用は民泊の意義をご理解いただき、緊急時以外は使用を控えるようお願いしております。
- ・受入後の先生の巡回は、民泊の意義と教育効果を考慮し、緊急時以外はご遠慮いただいております。

※ご準備いただく身の回り品について

- ・寝間着、動きやすい服装（体操服等）、タオル類、洗面用具、エプロン、三角巾（調理時）、運動靴、雨具（合羽必須）
- ・シャンプーやボディーソープ（石鹸）等は民泊家庭の物をご利用いただけますが、ご持参いただいても結構です。



◇参加者チェックシート

基本の約束

- 基本的なマナー、節度（迷惑をかけない等）を守りましょう
- 民泊家庭とのコミュニケーションをとり、積極的な行動を心がけましょう
- 常備薬は必ず持参してください（民泊家庭の薬は服用できません）
- 体調不良や困ったことがあれば必ず民泊先に相談しましょう
- 民泊家庭では、早寝早起きをこころがけましょう
- 民泊家庭の物を大切に扱いましょう（故意に破損させた場合弁償をお願いします）
- スマートフォンを持参する場合、使用は最低限に！緊急時以外の使用は禁止しています
- 食事は共同調理を基本とし、メニューは和食の田舎料理が中心になります



挨拶から始めよう！

- 元気よく「おはよう」「こんにちは」「おやすみなさい」の挨拶を！
- 感謝の心は「ありがとう」、迷惑をかけたなら「ごめんなさい」～気持ちをことばで伝えよう！

持ち物チェック

- 着替え 寝間着 動きやすい服装 エプロン・三角巾 運動靴 タオル類 洗面用具
- 雨具（合羽） 服用中の薬

- 貴重品や携帯電話等は持参しないでください（滞在中の破損・紛失については一切責任を負いません）
- キャリーバッグ（ハードスーツケース）ではなく、ボストンバッグ等でご準備ください

◇下見について

<p>全体打合せ 30分程度</p>	<p>民泊の目的や意義、重要事項の説明。必要書類や今後のスケジュールの確認</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆教育効果の高い滞在となるよう、目的や大切にすべきことを共有 ◆行程、移動方法、出発／到着時刻の確認 ◆民泊班割りについて、アレルギー情報等、重要事項の説明 ◆配慮が必要な生徒、特別支援の生徒の過ごし方について ◆不登校の生徒の有無 ◆緊急時の対応についての確認 ◆体験の選定、場所等のおおまかな説明 <p style="text-align: right;">など</p>
<p>各体験場所及び 入村式、体面式、離村式の 会場視察等 1～2時間程度</p>	<p>会場候補地を見学</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆町営向平キャンプ村、南紀州交流公社事務所、道の駅志原海岸など ◆各体験場所のアクセス、災害時避難場所、駐車場、トイレ、集合場所 <p style="text-align: right;">など</p>
<p>民泊家庭訪問 30分程度</p>	<p>民泊家庭を訪問（1、2軒程度）</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆民泊家庭での流れの説明（部屋の紹介や、避難場所の説明、お家のルールなど） ◆民泊家庭で受入中の様子や家業体験の内容などを共有していただきます <p>※訪問先が必ずしも当日受入する民泊家庭とは限りません</p>

- ◆調整を円滑に進める為、旅行担当の先生にお越しいただくことをお勧めいたします
- ◆重要事項を漏れなく打合せができるよう、余裕を持った行程でお越しく下さい
- ◆移動は各自のお車でお願いしております（公用車が先導いたします）



◇入村式・対面式・離村式について

式次第

入村式・対面式

1. 開会の挨拶
2. 民泊代表挨拶
3. 参加団体代表挨拶
4. 連絡事項等
5. 民泊家庭とのマッチング、解散
6. 先生が見送り

離村式

1. 開会の挨拶
2. 参加団体代表挨拶
3. 民泊代表挨拶
4. 連絡事項等
5. 民泊家庭との最後のお別れ
6. お見送り

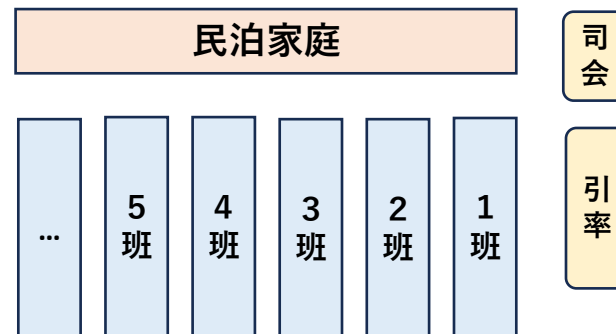
<会場一例：町宮向平キャンプ村>



屋外・芝生広場
大型バス 8台
生徒数 300名以上可能

整列の仕方

- ◆民泊班ごとに整列していただきます
- ◆右図のように、先生方・添乗員で生徒の誘導をお願いします



◇安心・安全な受入のために

① 民泊研修を定期的の実施しています

体験学習について民泊家庭も学び、参加者と共に成長しています

- ・民泊研修 : 品質の向上・理念の統一を図る
- ・消防研修 : 防火・防災並びに避難訓練の実施
- ・保健所研修: 衛生管理、アレルギー対策等の研修
- ・スキルアップ研修: 料理研修会や家業体験研修その他、意見交換会等



② 個人情報の管理

個人情報保護法に基づき徹底管理を行っております

③ 緊急連絡体制を整備し、24時間緊急対応いたします (別紙参照)

- ・滞在中、民泊家庭で病気やケガが発生した場合、直ちに民泊家庭から事務局に連絡が入ります
- ・当事務局から、添乗員もしくは引率先生に連絡し、先生方の指示を仰ぎます
- ・生命に関わる緊急時には、民泊家庭が直接救急車を手配するよう指導しています

④ 安全第一!

- ・滞在中、民泊家庭では参加者から常に目を離さず、一緒に行動します
- ・万一の事故に備え、賠償責任保険に加入しております
- ・送迎の際は安全運転を十分に行い、必ず任意保険に加入している車両を使用します

◇緊急事故対応フローチャート

緊急事故対応フローチャート



日置川消防署	通常	0739-52-3061
白浜町消防本部		0739-43-0119
すさみ消防署		0739-55-2237
	緊急	119
白浜警察署	通常	0739-43-0110
串本警察署すさみ幹部交番		0739-55-2055
	緊急	110
白浜町役場		0739-43-5555
役場産業建設係		0739-52-2302

南和歌山医療センター	0739-26-7050
国保すさみ病院	0739-55-2065
紀南病院	0739-22-5000
丸笹外科	0739-52-3636
日置診療所	0739-52-2002
白浜はまゆう病院	0739-43-6200
川添診療所	0739-54-0037

